

参考資料 2

令和4年9月26日定例教育委員会
議題「生駒市立南小・中学校の今後のあり方について」

1. 南小・中学校の今後のあり方について議論する内容を再度教育委員と確認した。

- ①校舎を一体型にするか、分離型にするか。
- ②校区をどうするか。
- ③保護者や地域への周知を今後どのように進めるか。

2. 王寺北義務教育学校を視察して教育委員からの感想

- ・1・2年生の教室が幼稚園の仕様を残しているのが良いと思った。
- ・学校を避難所としても想定されたおり、保健室の広さ等十分確保されていた。
- ・6年生のリーダーシップを育むのはどうすれば良いのか、と感じた。

3. 生駒北小中学校中井校長から学校の様子の説明

- ・まもなく運動会がある。小・中学校が合同で行うため運動会は1回で済む。また、9年間の子どもたちの成長する姿が見ることができる。
- ・担任同志の日程調整により、個人懇談の日程を兄弟で合わせている。
- ・育友会が1つに統合されたため、仕事が軽減された。
- ・北小学校から北中学校への区切りとして、小学校が2階、中学校が3階と階が変わる。制服が変わる。小1と中1が同じ日に入学式を行う。(卒業式は入試の都合で別々に行っている) 教科担任が変わる。
- ・先生方の輪が小・中の垣根を越えて広がっている。チームワークの良さが学校の活気を生んでいる。
- ・教科の乗り入れについては連携が取れている。1学年1クラスしかないのも、元々の教科の持ち時間が少ないのもある。
- ・いじめ、不登校の件数は少ない。
- ・廊下が広いので、作品を掲示したり、異学年と会話したりしている姿を見かける。
- ・6年生のリーダーシップについては、縦割りの行事を多くしており、6年生が内容を考えている。小学校の委員会活動は5・6年生のみで、小学校では最高学年なので、このような活動でリーダーシップを図れたらと考えている。

4. 生駒北小中学校について教育委員からの感想

- ・施設面でゆとりがある。明るい。木が使われて、そこで過ごしているだけで優しくなれる。
- ・小・中学校それぞれで入学式・卒業式があるのが、節目となっていて保護者にとっても良いことだと思う。
- ・先生方が伸び伸びされている印象である。中学校の先生が恐いということはない。